

令和4年度 自己評価書

令和5年3月29日

真庭市立久世保育園

園長 吉原 幹枝 印

1. 久世保育園の教育保育目標

児童福祉法に基づき保育を必要とするすべての子どもに対し、安心・安全な生活の場を保証し、保護者と共に子どもの最善の利益を考慮した保育を行う。

〈保育方針〉

「居心地の良い環境の中で育ち合う保育」

〈教育・保育目標〉

- いきいきと意欲をもった子ども
- 自分で考えて行動する子ども
- 友達と共に育ち合う子ども

2. 本年度の重点目標

本年度のテーマ

主体的に活動できる子どもをめざして

ー子どもの「やる気」が育つ保育づくりー

遊びを通して体幹を保持する力をつけ、「やる気」が育つ保育をする。

- 子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。
- 養護と保育が一体となって豊かな人間性を持った子どもを育成する。
- 保こ小の連携をとりながら、スムーズな就学が迎えられるようにする。
- 安全安心の給食を提供すると共に食を通して豊かな心を育てるようにする。

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価
教育課程・指導計画	園の目標などは、年初めに話し合い、全体的に育てたい事項を話し合い、指導計画に入れて取り組んだ。	3
行事	季節毎に子ども達に経験させたいこと、感じて欲しいことなどを計画に取り入れて行った。	3
組織・運営	事務分掌に沿って、各々の職務を遂行している。行事や園内研修を含め、週2回の報告会を持っている。時間など調節をしながら行う必要がある。	3
学級経営	子ども一人一人の発達を理解する為、観察、保護者との連携、環境作りを他のクラスと共有し、協力しながら行った。	3
特別支援教育	集団でしか見ることができない姿を保護者や他のクラスと共有し、必要であれば関係機関との連携をとった。	4
安全管理・保健指導	コロナウイルス感染症については、感染拡大にならないように対応をした。午睡、食事中の安全や不審者対応についての研修も行き、保育中の安全について研修を行った。	4
研修（資質向上）	職員としての研修や保育についての様々な研修に参加した。参加者だけで完結しないで、園内で共有することで、知識だけでなく意識の向上につながった。	4
情報提供・保護者・地域との連携	各クラスのお知らせ、全体へのお知らせは配布物だけではなく、お知らせボード等を使い、写真やお知らせを掲示するようにした。コロナ禍で地域との連携は薄くなっている。	3
小学校との接続・連携	スムーズな就学に向けて、交流をしたり、職員間で連携を取ることができた。	3
子育て支援	送迎時の保護者との会話や懇談時の話から、保護者の子育ての思いに寄り添い、一緒に考えたりした。	3

食育の推進（給食）	給食では、季節や行事など感じられるように盛り付けをしたり、園内で栽培した野菜を調理して食べる事ができた。また、食事の様子を見学したりし、担任と調理員が連携を持ち、食育活動を進める事ができた。	4
食事の提供（調理）	真庭市の給食衛生管理の手引に沿って衛生管理を徹底しながら調理をすることができた。異物混入なども起こすことなく、給食の提供ができた。	4

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価

5. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

<p>本年度のテーマ主体的に活動できる子どもをめざして—子どもの「やる気」が育つ保育づくり—では、体幹を保持するキッズヨガや体幹トレーニングやバランスをとりながら歩くなどの遊びを継続的に行うことで、姿勢を保持することができ、話しを聞くことができたり、遊びへの集中が持続できるようになってきた。～したいけれど飽きてしまうことが減り、「やる気」が育ってくるように体幹保持の遊びを継続していきたいと思う。</p> <p>子どもが安定した生活ができる環境として、全身を動かして遊ぶことや納得いくまで遊ぶことが望ましいが、隣接する公園が駐車場になったり、砂利が敷いてあるところがあるなど安全な場所が少なくなってしまった。</p> <p>豊かな人間性を育てるためには、回りの物的環境だけでなく、保育者のような人的環境も大きく影響をするため、しっかりと関わり、気持ちをだして生活できるように気をつけて関わりをもつようにした。</p> <p>小学校との連携では、職員同士の連携が大切であることから、連絡を取り合い、小学校から来園してもらい連携をとりながら、スムーズな就学が迎えられるようにした。</p> <p>給食では、衛生面では特に気をつけ、異物混入もなく、給食を提供することができた。</p>
--

6. 評価結果を受けての具体的改善方策等

行事についての保護者アンケートから、コロナウイルス感染症対策として始めた行事の取り組みが良かったという回答が多かった。コロナウイルス感染症の対応が緩和されていくことに対して、様々な方法を考えて提示するようになりたい。

また、子育てアンケートからは、子どもにしっかり向き合いたい、日々のことに追われて向き合うことがあまりできていないようである。短い時間でも子どもとコミュニケーションが取れるような方法をお知らせしていきたい。

職員の報告・連絡・相談の機会として報告会を週2回行っているが、様々な課題が多く、時間が長くなってしまふが多かった。時間を決めて終わることができるように工夫が必要と考える。

コロナ禍で地域との連携がほとんどできなかったことから、地域との関わりを少しずつもち、地域の良さや温かさを感じられるような楽しい体験活動ができるように計画していきたい。

(保護者アンケートの結果や園内職員で改善策を話し合ったことなど織り込んで記入する)

園評価基準

評価	基準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である